

ウイズ（共に）

With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信

1996年12月号

〒862
熊本県熊本市保田窪本町5-29
TEL・FAX共通
096-382-0861

今年もお世話になりました

1996年も残りわずかとなって参りました。皆様におかれましては今年1年間、どんな1年であったでしょうか？そして、牛乳パックやコピー用紙また古着などを持ち込んでいただきまして、ありがとうございました。

なお、今年9月には大型の紙すき機を導入し、紙すきの大幅拡大に力を入れるようになりました。そのせいか、注文も多く来るようになり紙すき班は毎日忙しい日々を送っています。今では、再生紙のハガキの年賀状の注文も来るようになりました。労働センターとしては、とても嬉しいことだと思います。

8月には、台風の中『第4回ハートフル・ムービー』をおこない、その他各種の催しやイベントなどにも積極的に参加し、忙しい年ではありましたが、みんなで力を合わせて乗り越えることができました。また、皆さんのお力添えもあり、非常に助かった分もありました。本当にありがとうございました。

来年も、何かと忙しくなると思いますが、ご協力の程をよろしく願います。

良いお正月をお迎え下さい。

メンバー一同より

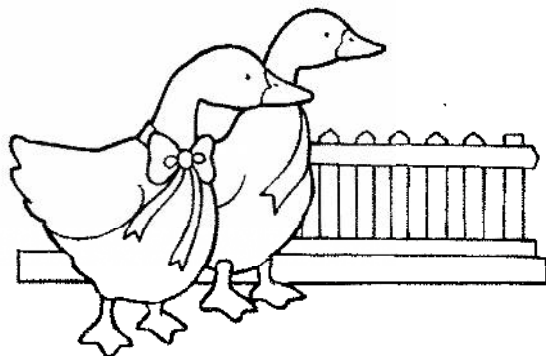
希望荘

着付け教室
に

参加して

11月24日、日曜日、希望荘文化祭での着付け教室に参加させて頂きました。労働センターからは、川上さんと私+息子の計3人を小池先生にお願いしました。3人共、着物を着るのはこれが初めてだったので、嬉しい気持ちより、気恥ずかしさの方が強かったように思います。緊張する中、丁寧に着付けをして頂き、即席大和なでしこのできあがり。息子も、馬子にも衣装とはよく言ったもので、どこかの若様のように仕上がって(?)いました。(母親の目には落語家のように写ってましたが…)そして私は…というと、いつもはノーメイクにGパンですが、色打ち掛けを振り袖のように着せてもらい、髪を結い上げ、紅をさ

し、もう気分はすっかりお姫様。着物を見るまでは、留め袖にするつもりだったけど、20代最後の思い出に、と勝手に理由をつけ、ずうずうしくも振り袖を着させて頂いちゃったワケです。得をしたのか、恥をかいたのか…本人としてはものすごくいい気分でしたけど。それにしても着物のイメージは『とにかく苦しい』だったけど、初めて着てみたら、全然そんな事はなかった。姿勢も良くなるし、気持ちもシャンとする。30年近く日本人をしている私でさえ、「ニホンノブンカ、キモノバンザイ!!」と思いました。何事も変な先入観を持ちちゃいけませんね。良い経験をさせて頂き感謝します。小池先生、着付け教室の皆様、本当にお世話になりました。どうもありがとうございました。



H. Washizaki

私の好きな本

丘修三著「僕のお姉さん」 偕成社

この作品との出会いは衝撃的でした。図書館で見つけて何気なく読み始めたのですが、その内容といい、問題のとらえ方といい、私が過去の経験をもとに書こうと思っていたことがほとんどすべて表現されていて、私の児童文学作家になるという夢を打ち砕いてしまったほどの本です。私は障害を持った子供たちの気持ちや彼らを取りまく健常者たちの姿を児童文学という形を借りて表現してみたいと思っていたのですが、それがすでに丘修三という作家の手で行われているということを知って驚いたのです。

この本は短篇集で、全部で6つの作品が収録されています。「ぼくのお姉さん」というのはその一篇で、知的障害のあるお姉さんの姿を弟の立場からやさしく描いた心の暖かくなる作品です。他に脳性マヒの子どもの目から見た学校

の様子や先生の姿を描いた「ワシントンポスト・マーチ」、健常者の子どもたちに待ち伏せされて暴行される身体障害の子どものことを、暴行する子どもの側から描いた「歯形」など、それまでの児童文学のイメージを変えてしまったほどの現実感と迫力があります。そしてどの作品からも人を大切にする暖かい気持ちが伝わってきます。大人が読んでも心を動かされる素晴らしい本ですし、子どもが読んだらきっとやさしい気持ちになるだろうと思える本です。

なお作者はこの作品の前に、洪し孝夫という本名で「ケンと健一」という車いすに乗った少年の友情物語を書いています。が、実際のデビュー作は、「ぼくのお姉さん」といってよいと思います。この作品により作者は、児童文学者協会新人賞、新美南吉児童文学賞、坪田譲治文学賞を受賞し、長年勤めた養護学校をやめ、本格的な作家に入からです。

この本に衝撃を受けた私はその後、作者のすべての作品を読むことになるのですが、どの作品にも現実を見る目の確かさと暖かさ、やさしさを感じ、この様作品を書ける作者がうらやましくなります。そして自分にはとても書けないあと思っています。

また作者の作品にはなつかしい感じのするものが多いのですが、どうしてそうなのかと思ったら、作者は少年時代を熊本県の甲佐町で過ごしており、そのことも影響しているのかも知れません。「少年の日々」という作品ではそのころの楽しい思い出が出てきます。

なお丘修三というペンネームは「世の中なんだかおかしいぞ」の意味をこめてつけられたものだそうです。

北村孝博

蓮華院誕生寺バザーに参加して

11月3日、玉名の蓮華院バザーに参加しました。バック連の田中さんからお誘いがあった、販売も出来るからと言われたので行きました。他にもバザーがたくさん出てました。労働センターから参加は一人でもいいからと誘われたので私が行きました。

朝から、田中さんと二人で準備をしてお昼から販売しました。販売した場所も特等席を確保してくれました。前日に田中さんから11月3日はお相撲さんの曙が来ると聞いていました。販売してたら、いきなり大きな太鼓が鳴り曙と後ろには二人のお相撲さんがついていました。曙をはじめ見て背が大きかったのでビックリしました。曙が来たらみんなカメラを持って追っかけてました。お客さんも販売の所にこられるんだけど、「これ、いくらですか」と聞いて、応えると「高いですね」と言われました。年賀スタンプを買ってくれました。販売売り上げは8980円でした。

田中さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

野口美枝子

ボランティア週間行っの感想

11月17日に下通りで朝の10時～午後3時までボランティア週間がありました。

労働センターからは吉村と市瀬が参加しました。

私は朝の9時30分に下通りに着いて、松井さんとスタンプやハガキを用意していたらアクセサリ市場のお兄さんから私におはようと声をかけられてびっくりしたけれど私は、すぐにアクセサリ市場のお兄さんにおはようございますといいました。それから10時に開会式が始まりますので集まって下さいとお知らせがあったので労働センターからは私が開会式に行きました。そして午前は労働センターの品物はほぼ売れてきて12時に松井さんと交替してお昼ご飯を急いで食べに行って、また12時30分から3時まで松井さんと交替しました。そしてボランティア週間の方から労働センターと書いてあった寄付用の封筒がきたので1000円を入れてました。午後の2時30分まで品物を出していたけど、ライン工房とふれあいワークさん達がもう片付けに入っていたので、労働センターも片付けに入りました。ボランティア週間に参加された方、本当におつかれさまでした。

市瀬 恵

希望荘文化祭に 出たこと

今日は良い天気になったので希望荘文化祭に出ることになりました。小池先生が、労働センターから寄付された着物など準備してあったので、それを着てみました。私は、まさか労働センターで眠っている着物を着るなんて夢にも思いませんでした。帯結びは、今までとは結び方が違って花文庫結びで、いったいどんな結び方なのか全く意味不明でした。いよいよステージ発表になりました。時間が12時過ぎたのでおなかが減っていましたが、何とかステージに上がりました。

わがままチンパンジーバンドの演奏、3B体操、手話ダンスも進んで、着物着付けショーが始まったのは12時40分からでした。ステージに出た時は労働センターから寄付された着物で、私が上がった時は拍手が少なかったのですが、後ろの花文庫の時は拍手が大きかったので嬉しかったです。

終了後、2階ホールでまたもや恒例の記念写真

を撮り、個人写真はステージ前に1枚と、終了後1枚ずつ（終了後は、小池先生と）撮ってもらいました。3階プレイルームに付いた時は、暑かったけど何人かが脱ぎたいというまで大変でした。2時前に、カレーライスと、小池先生から煮豆ときゅうりのごま入り漬物、デザートはみかんまで食べて私は大満足でした。

小池先生が、市瀬恵さんは元気に頑張っているのかなあと心配していました。私もそれが心配でした。小池先生は4時間の睡眠だったそうですが、疲れていない様子でした。私も小池先生と2年ぶりの再会となり、とても楽しかったステージでした。

平島浩美

年末・年始のお休みのお知らせ

日頃、くまもと「障害者」労働センターに牛乳パックの回収にご協力いただきありがとうございます、年末・年始にあたり、下記の通り業務を休ませていただきます。まことに勝手ではありますが、よろしく申し上げます。来年もよろしく申し上げます。

12月29日（日）から1月5日（日）まで

くまもと「障害者」労働センターメンバー一同

思い出すままに10

はかりしれない子供の気持

一甲宜男

子供達と接していると、時には、子供達の言動に「ムカッ！」となる場合があります。若い頃は、それで大声で叱り飛ばしたり手を上げ、叩いたりした事もありました。しかし、年を重ねることにつれ、気力の衰えもあるのか「ムカッ！」となっても大声を出したりたたいたりすることがなくなって来たようです。その事が「ムカッ」としたことが、あとで子供ってこんなにも純粋なのかと思ひ知らされる事になったのです。そのいくつかをあげてみましょう。

その1 「センサータダイマー」

もうすぐ子供の日です。先生は、教室の長さほどのコイをビニールの袋で作りました。子供達に、それに色紙で目やうろこを作って張りつけていく作業をさせたいのです。昨日は、学校の近くの竹林から大きなもうそう竹を一本、みんなでワッショイ、ワッショイと運び、こいのほりを作るんだともり上がった一年生です。すぐに「ワーイ」と言っとうろこを作り始めると思っていた先生は一人の男の子の声に「ムカーッ！！」となったのです。「ベー、シタクナーイ。」とたん先生は言いました。「したくないなら、せんでいい、かえれ！！」その子は「ワー、カエッテイイトネ」とさっさとカバンをカバン棚から取って教室から出ようとしたのです。すると「マッテ」「オレモー」と、次から次へと7、8人の男の子がカバンを取って教室から出て行ったのです。先生は、心の中で「しまった！」とあわてふためいていたのですが「帰れ」と、言った手前止めるわけにはいけません。心はコイ作りに行かず出て行った子供達の事が気になってしかたありません。「センサー、ヨビニイコウカ。」「ホッテイイト？」と残った子達も心配し始めます。20分も過ぎ、30分にもなると先生も心配でなりません。入学したばかりの一年生ですから。家に帰りついたかどうか電話をしなければと思ひながら。こいのほりの「こい」がどうか完成に近づいた時、「センサー、タダイマー」と、カバンをからった子供達が全員、ニコニコして帰って来たのでした。残っていた子供達の顔にも、やっと笑顔が見えたのです。

その2 「うんこ券」発行

母の日の前日です。子供達は、お母さんに「ありがとう」の気持ちをこめて、お母さんへの プレゼント券を作ります。「肩たたき券」「お掃除券」

「皿洗い券」などなどお母さんが喜びそうな事を回数券として作っていきま

す。

ところが、こうすけ君は「うんこ券」を作っているのです。カードには「うんこ」「うんこ」とたくさんの「うんこ」が並んでいるのです。先生は一瞬「ム！！ ふざけてる！と思いました。「どうして、こんな、うんこ券にすると？」と聞いてもこうすけ君はニコニコしているだけです。先生は、こうすけ君の気持ちををはかりかねました。

後日、こうすけ君のお母さんから次のようなお話を聞く事ができました。一年生になったばかりのこうすけ君は、毎朝、お母さんから「うんこしたネ？」「おしっこしたネ」と言われているのです。どこの親も登校前や就寝前に排便、排尿を促すように。そして、こうすけ君が「うんこ」をすると、お母さんは「おりこうさん」と言って、頭をなでてほめていたのです。こうすけ君は、母の日からトイレに行くたびに「うんこ券」をお母さんに渡していたというのです。お母さんは、いちいち「うんこしたネ」「おしっこした？」と声をかける手間がはぶけたのです。「こうすけが自分からトイレに行くようになってよかったです。」こうすけ君にとっては、「うんこ券」が何よりのお母さんへのプレゼントだったのです。「先生、うちの子が『うんこ券』なんか作ってびっくりされたでしょう。」お母さんの話に、先生は「いいえ、そんな……」言葉をにぎししながら「なんだ、うんこ券なんか……」としからなくて良かったなあ……と思いました。

その3 「おかわりちょうだい」

給食時、子供達は先生に聞きます。「パンのおかわりあるネ。」子供の言葉使いのぞんざいにムッとした先生は、「ないよ！」とぶっきらぼうに答えます。と次は、「牛乳のおかわりは？」と、聞きます。虫の居所が悪かったのか、先生は更にぶっきらぼうに「ない！」と大きな声で答えます。何を聞いても「ない」としか答えない先生に子供は、何をおもったのか「そんならげんこつのおかわりは？」と聞いたのです。「あるよ。」と、先生は今度は元気よく答えました。先生はびっくりしました。予想もしていない事が起こったのです。「ちょうだい」「ちょうだい」と先生の所へ走ってくるのです。「ほんとにいるの？げんこつだよ。」「うん、いいよ。」先生は楽しくなってゴツン、ゴツンとげんこつを頭へ。1人、2人、3人……次から次へと「ほくも」「ほくも」とやってくるのです。8人、9人と先生の手は痛くなりました。「また、おかわりちょうだい」と、2回目、3回目と並ぶのです。もう先生の負けです。「もう、げんこつのおかわりないよ。」「ウエー つまらん。」と、とうとうおかわりをもらえなかった子供はがっかりしていました。

この1年を振り返って

この1年を振り返ってみて、感じる事は時間が過ぎ去るのが本当に早いものだなあという事です。この前、正月を迎えたかと思っていたらもうクリスマスの時期になってしまいました。

1年・365日・52週、私にとって熊本に出てきて院内生活が最も短かった年ではないでしょうか。今年の2月、最も寒さが厳しかった時にアルコールを多量飲酒してくわみず病院に担ぎ込まれた時には、主治医の先生も内科の先生もビックリされていました。もう少し病院に行くのが遅かったら、私はこの世の人ではなくなっていたでしょう。ふくし生協の小澄君が迎えに来なかったら、おそらく私は飲み続けて命を落としていたでしょう。それくらい私はアルコールの魔力に取りつかれていました。小澄君は私にとって命の恩人です。くわみず病院についてからの私は、寒さからの震えと体内からアルコールが抜けていく離脱症状で震えが止まりませんでした。先生が話しかけられても口から言葉が出ずに何も言えませんでした。そんな事もあり、点滴を打ち始めましたがその途中で吐血を2回しました。2回目の吐血の時は、量が多かったため血液検査されました。すると、『アシドシスウ』に変化していると報告されました。要するに、体内の血液が『酢』のような状態に変化していたのです。今はもういない尾崎豊みたいになっていたという事でした。それに、血糖値がものすごく高かったためインスリンを2～3日打たれました。その上に、両足の末梢神経障害も起こしていたため立ち上がる事さえできませんでした。そういう状態でしたので、くわみず病院に1ヶ月半ばかり入院していました。入院中に、看護婦さんにこんな事を言っていた事を思い出します。

「アルコール依存症は、不治の病だから一人で治せんもんね。退院したら思いっきり飲んでやる」などと言っていました。そして、3月9日に退院しました。退院前は、今までにない不安に襲われましたが、最初の1週間を乗り切ることができたので、少しは自信ができました。それからです、一日一日を気楽な気持ちで過ごしていたら『アッ』という間に3ヶ月が過ぎました。菊陽病院に定期的に通院しているのですが、主治医である赤木先生もビックリされていました。よく話されることは「あれだけ飲んでいたのに、どうしてかなあ」などと言われます。一度命を落としかけたのだから、あの恐怖感は忘れられなかったのです。そして、ソプラテイーを持続して7ヶ月間、労働センターで自分に出来る仕事をゆっくりと焦らずにこなしてきました。各種イベントにも参加し、それなりにやって来しました。しかし、落とし穴がありました。その落とし穴とは、スリップしたことです。スリップとは、ある一定の期間、アルコールをやめていて急に飲み出すということです。そ

しかし、この1年間、よくやったと思います。6月の下旬には、新南部のアパートから長嶺の借家に引っ越しましたが、労働センターまで電動車椅子で通ってくるのですが、なかなか楽しいものです。まったく知らない人から「ガンバレヨ」などと声をかけられたり、近所の子供達と遊んだりしますが、それがまた、新鮮さがあるいいものです。今年も後わずかとなりましたが、来年もこの調子で生活できない。

(久島雅樹)

熊本シネマランド ㉑

編集協力・キネコム
(熊本に映画博物館を創ろう会)

流れ板七人



“板”とは板前さんのこと。和食の料理人ですネ。ホラ、歌にもあるでしょ。ホーチョウ一本サラシニマ〜イテ・・・

サラシときたら着流し・長ズ。そう、東映映画お得意の任きょうの世界。でも物騒なものは一切なしヨ。ここは美味しく料理で勝負!

老舗の料亭を舞台に、松方の兄が見事な包丁さばき。本格的な日本料理で一本勝負! いしだあゆみ共演。

ジングル・オール・ザ・ウェイ

スーパー・アクションスター、アーノルド・シュワルツェネッガー。ムキムキのヘラクレス・マンはもう一つの顔を持つ。

「ツインズ」や「ジュニア」のコメディ「シュワちゃん」だ。

今度は「ホーム・アローン」のクリス・コロンバス監督と

組んで愛情あふれる父親役で大活躍。クリスマス・イヴに幼い息子の欲しがる“ターボマン”人形を手に入れるための悪戦苦闘。パパは約束を果たせるか!?



レオン 完全版

ニューヨークで一番の殺し屋レオンと身寄りのない12才の少女マチルダ。都会の中、根を張ることのない孤独な二人。その激しく純粋な愛は、哀しい衝撃的な結末へと向かう。

「グラン・ブルー」「ニキータ」のリュック・ベッソン監督が世界的に大ヒットした「レオン」に自ら22分間の未公開シーンを加え完全版とした。レオンとマチルダの愛のかたちが、より鮮明に浮かび上がる!



パラサイト・イヴ



大学に勤務する気鋭の生化学者。ある日、妻が事故で脳死状態になる。妻を愛するあまりその死を認めたく

ない彼は、妻の肝細胞を取り出し培養し始める。しかし、その細胞は異常な早さで増殖していき彼のまわりでは奇怪な事件が起こりだす。ミトコンドリアが自らの意志を持ち人間を支配しようとしているのか! 原作は日本ホラー小説大賞を受賞、大ベストセラーとなった。

三上博史、葉月里緒菜、中嶋朋子出演

天使の贈りもの



今年こそは、うーんとロマンティックなイヴを過ごしたい! と思っているあなたに贈る最高のラブ・ストーリー。不運続きで人生に絶望している牧師を救うためやって来た天使(デンゼル・ワシントン)。こともあ

るうに牧師の妻(ホイットニー・ヒューストン)に恋してしまう。そして聖夜。そこで起きる素敵な“奇跡”。ホイットニーの魅力のボーカルがたっぷり聞け超ヘリー・ウッドです

グリマーマン

演技だけでなく本物の“技”を持つアクション・スターそれがスティーブ・セガールだ。無口で単独行動を好む一匹狼、孤高の男のイメージが強い。

最近作「エグゼクティブ・テンション」でカート・ラッセルと共演したが演敵が現れる前に画面から消えちやつて淋しい思いをした(両雄並び立たずってことね)今回は、一瞬に相手を殺す業をもつ男、よき相棒を得て本領発揮、神業ともいえるセガール拳の数々を堪能できそー。





虹をつかむ男

一年の最後の月「師走」、なぜかワサワサと慌ただしい。ジングルベルのメロディーにせきたてられ忘年会の連チャンに浮かれていますと…いつしか除夜の鐘が鳴り響き…グッドバイ'96年。一夜明ければお正月。お正月といえば初詣。初詣の帰りに「寅さん」を観て…。そう去年まではそうでした…。

満員のお客と一緒に、心から笑ったり、思わず涙ぐんだり、観終わったあと胸にホワッと暖かいものが残って、「今年は、なんかいいコトありそうだ!」という気分になったものです。でも、もう新しい「寅さん」には会えません。山田洋次監督は悲しみを乗り越えて、亡き渥美さんに捧げるこんな楽しい、素晴らしい映画を作りました。小さな町の古い映画館。西田敏行演じる「映画バカ」の館主。「映画の灯を命をかけても守る」が口癖で世界の名画の上映に情熱を燃やしている。吉岡秀隆を始め「とらやの人々」も出演します。そしてラストシーンには懐かしい「寅さん」の笑顔が。

Let's go to the Movies! 97'1月

★毎月一日は映画ファン感謝デー・1000円均一。★市内駐車券持参で300円割引入場可。

熊本東映	☎356-7393	金田一少年の事件簿 ～1/14	流れ板7人(食を極めた料理人)1/15～
東宝1	☎352-1718	モスラ～1/31	パラサイト・イブ(原作/瀬名秀明、音楽/久石譲)2/1～
東宝2	☎352-1718	ファイナル・プロジェクト(J・チェン)/ジングル・オール・ザ・ウェイ	
東宝プラザ1	☎352-0952	インデペンデンス・デイ(UFO VS 地球軍)	
東宝プラザ2	☎352-0953	デライト(海底トンネルからの脱出は?)	
セントラル劇場	☎353-4050	インデペンデンス・デイ(監督/スター/ゲイト)のローランド・エメリッヒ)	
セントラル1	☎356-3100	バードカーニジ(ロビン・ウィリアムズ/ジーン・ハックマンの面白コメディ!)	
シネラックス1	☎352-3592	デライト(海底トンネルの重大事故にシルベスター・スタローンが送り込まれた!)	
シネラックス2	☎356-7904	午前中ピノキオ(日本語版)、午後～天使のおくもの～1/17	グリマー・マン1/18～
DENKIKAN	☎352-2121	グース～1/24	レオン完全版(ジャン・レノ&ナタリー・ポートマン)1/25～
	★レイトショー→	ジャン・レノ・ゴダール特集/勝手に逃げる/人生(1/10～13)	万事快調1/14～17 One Plus One(1/18～24)
熊本松竹1	☎354-3611	評決のとき(原作/J・グリシャム、主演/サンドラ・ブロック、マシュー・マコノヒー)	
熊本松竹2	☎354-3612	サラリーマン専科・単身赴任/虹をつかむ男(日本版ニューシネマパラダイス)	



たった一日だけの上映会

■「モスラ」

①11:00～②1:30～

- ・1/11(土)益城町文化会館
 - ・1/12(日)大津町文化ホール
 - ・1/19(日)宇土市民会館
 - ・1/26(日)菊池市文化会館
- ・096-352-1718(東宝)

■「金田一少年の事件簿」

①10:30～②12:30～③2:30～

- ・1/5(日)玉名市民会館
 - ・1/11(土)山鹿市民会館
- ・096-356-7393(東映)

(太田橋上のゴジラ難民)

「ギルバート・グレイブ」
田舎町に住むギルバートの家庭には父がいない。様々な問題や障害を持つ家族の面倒を一人でみている。町を出たいとは思っている。いつも結局は「僕は行けない」
商売人の家の一人っ子の私には、かなり身につまされる。結局ギルバートは様々なしがらみから脱出できたが、この俺は…と心の片隅で嘆きつつ、カラオケで「バイそれまでヨ」を熱唱する屈折した私…。

「私の好きな映画」
「ギルバート・グレイブ」
田舎町に住むギルバートの家庭には父がいない。様々な問題や障害を持つ家族の面倒を一人でみている。町を出たいとは思っている。いつも結局は「僕は行けない」
商売人の家の一人っ子の私には、かなり身につまされる。結局ギルバートは様々なしがらみから脱出できたが、この俺は…と心の片隅で嘆きつつ、カラオケで「バイそれまでヨ」を熱唱する屈折した私…。

私の好きな映画

「エグゼクティブ・デシジョン」
これぞハニークサスハニーククリスマス默示録
やつは天海はカッコエエ
学校Ⅱ
ハンディに打ち負けたった
チューン・リアクション
アクションに息のむばかり
ジングル・オール・ザ・ウェイ
あのシブちゃんか笑わする

映画肥後狂句

京 小町

11月の日報より

「ろ」=労働センター・「あ」=あきた共作業所

1日	長嶺小学校で紙すき教室	「ろ」
1日	熊福連会議	「ろ」
2日	バック連会議	「ろ」
3日	玉名・吉田司家販売(バック連)	「ろ」
5日	機能病院から見学	「ろ」
9日	生協まつり(南支部)販売	「ろ」
9日	県同教研大会「阿蘇」販売	「ろ」
12日	YMCAの学生さん見学	「ろ」
16日	松養30周年記念行事販売	「ろ」
16日	アリスの会報告会	「ろ」
17日	フリーマーケット	「ろ」
17日	ボランティア週間販売	「ろ」
23日	泰勝寺バザー	「ろ」
24日	希望荘文化祭参加	「ろ」

11月分上質紙回収

「ろ」=労働センター・「あ」=あきた共作業所

ミヤデン	23.5kg	「ろ」
熊本学園大学	352.2kg	「ろ」
熊本大学特殊教育学科	10.1kg	「ろ」
グリーンコープ東支部	217.0kg	「ろ」
リボンガス	4.9kg	「ろ」
セカンド	23.8kg	「ろ」
県同教	9.4kg	「ろ」
グリーンコープ北支部	13.7kg	「ろ」
日の出製粉	4.0kg	「ろ」
労働センター	10.5kg	「ろ」
YMCA国際センター	0.8kg	「ろ」
九州沖縄子ども劇場連絡会	49.5kg	「ろ」
熊本県社会福祉協議会	17.9kg	「ろ」
高齢者福祉総合相談所	20.1kg	「ろ」
熊本県福祉人材センター	5.7kg	「ろ」
悪役商会	8.5kg	「ろ」
西日本リハビリテーション学院	8.4kg	「ろ」
熊本県中小企業家同友会	6.6kg	「ろ」
S・T・C	16.1kg	「ろ」
熊本ゼミナール上熊本校	38.1kg	「ろ」

合計 840.8kg

11月分バック回収

「ろ」=労働センター・「あ」=あきた共作業所

グリーンコープ北支部	998.6kg	「ろ」
------------	---------	-----

社会福祉専門学校	11.4kg	「ろ」
岡田コーヒー	48.1kg	「ろ」
南ヶ丘小学校	75.8kg	「ろ」
ひかり幼稚園	51.5kg	「ろ」
山ノ内小学校	82.7kg	「ろ」
くまもと生協	378.8kg	「ろ」
グリーンコープ東支部	970.0kg	「ろ」
物流センター	1967.0kg	「ろ」
グリーンコープ鹿児島	1000.0kg	「ろ」
幸田市民センター	29.0kg	「ろ」
美松遊機商会	1.6kg	「ろ」
機能病院	1.5kg	「ろ」
若山晴之	5.6kg	「ろ」
月出小学校	47.7kg	「ろ」
J A健康支所	27.7kg	「ろ」
健康小学校	62.1kg	「ろ」
大江市民センター	13.6kg	「ろ」
日の出製粉	10.0kg	「ろ」
熊本いのちと土を考える会	11.5kg	「ろ」
個人	6.1kg	「ろ」
ヤマギシ	60.2kg	「ろ」
南小国婦人会	58.6kg	「ろ」
ソロプチミスト熊本	10.3kg	「ろ」
キッチン岡田	9.1kg	「ろ」
有機の会	15.3kg	「ろ」
大江市民センター	4.6kg	「ろ」
帯山小学校	22.7kg	「ろ」
J A小山戸島	17.9kg	「ろ」
西原小学校	42.4kg	「ろ」
出水小学校	19.0kg	「ろ」
らくのうマザーズ	257.4kg	「ろ」
須藤久仁恵	2.5kg	「ろ」
熊大付属中学校	35.9kg	「ろ」
台信商店	43.6kg	「ろ」
小天東小学校	43.4kg	「ろ」
J A秋津	48.2kg	「ろ」
緒方のり子	2.5kg	「ろ」
学校名不名分	78.1kg	「あ」
グリーンコープ西	580.0kg	「ろ」
グリーンコープ南	580.0kg	「ろ」
J A中島支所	14.8kg	「ろ」
宇土広める会	262.0kg	「ろ」

合計 8008.8kg

編集後記

今年も1年があわただしく終わろうとしています。皆様のこの1年間はどんな年でしたでしょうか。先日の忘年会には多くの方に参加してもらい、メンバー一同嬉しく思っています。今年もいろいろありましたが、皆様のご支援・ご声援もあり無事に1年の終わりを迎えようとしています。来年も、労働センターメンバー一同頑張ろうと思っています。皆様のご尽力の程をよろしく願います。

編集長 久島雅樹